

## ○Web サイトにオプトアウトする書式

「自傷・自殺患者様における危険因子の数と再企図との関係性の調査」

### ○研究の概要

救急医療場面による自殺リスクアセスメントは治療方針の決定や予後を推測するうえで重要です。実臨床では初回企図と 2 回目以降の企図では危険因子の数に違いがある印象がありますが、危険因子の数と将来的な再企図との関連性を検討した調査は見当たりません。当院を受診した自傷・自殺企図患者様の自殺危険因子と再企図受診歴の情報を収集し解析します。

### ○研究の目的と方法

#### ・目的

当院救急外来を受診した患者様を対象に自殺危険因子数と自殺再企図との間に関連性があるかを検証します。

#### ・方法

対象は、2019年4月から2020年3月までに当院救急外来を受診した自傷者・自殺企図者で、2023年3月までに診療録上生存もしくは死亡が確認された症例です。観察期間中の再企図の有無について検討します。リスク因子については、自傷・自殺歴、家族の自殺歴、喪失体験、苦痛な体験、生活・経済問題、精神疾患の既往や心理状態の変化、身体疾患、ソーシャルサポートの欠如、企図手段への容易なアクセスの9つに分類し、その個数を計上します。年齢、性別の他に重要な交絡因子として、支援に対する患者の態度、実際に支援が増えたかも確認します。EZRを用い、Fisherの正確検定、ロジスティック回帰分析を行います。

### ○本研究の参加について

該当する患者さまの電子カルテ上の情報を、当方で集計させていただきますので、改めてアンケートに答えていただいたり、同意書をいただいたりすることはございません。ご参加の御意志をあらためて確認することもございません。個人情報はずべて匿名化して報告させていただきますので、個人のプライバシーは守られています。

万一、この調査に参加したくない患者様がいらっしゃいましたら、当方に連絡いただきますと集計からはずさせていただきます。ただし論文の報告後は集計からはずすことは現実的に不可能となります。

### ○調査する内容

本研究は、令和1年4月1日～令和2年3月31日の期間中、国立病院機構熊本医療センターの救急外来を受診した自傷・自殺企図の患者さん396例中、令和5年3月31日までに診療録上生存もしくは死亡が確認された204例を対象としています。新たに試料・情報を取得することなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。

### ○実施期間

研究対象期間：令和1年4月1日～令和2年3月31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和6年11月30日まで

### ○研究成果の発表

調査した患者様のデータは、集団として分析し学会や論文で発表します。また、個々の患者さまのデータを発表するときも個人が特定されることはありません。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を判別できるような情報は利用しません。

研究に利用する情報は、お名前、住所など、個人で判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号と患者様の名前を結び付ける対応表を当院の研修責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研修責任者が責任をもって適切に管理いたします。

検体や情報は、当院の研修責任者が責任をもって適切に管理いたします。

○研究代表者

国立病院機構 熊本医療センター 精神科 川口晋

○当院における研究責任者

国立病院機構 熊本医療センター 精神科 川口晋

○問い合わせ先

本研究にご自身のデータを使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際には、以下の連絡先までお問合わせください。

国立病院機構 熊本医療センター 精神科 川口晋

電話：096-353-6501（代表）